



協働ニュース

しなもん
品聞



品川区ではどんな地域活動が行われている？



活動紹介動画「しながわ地域貢献活動展」・
活動団体ガイドブック「しな活」で紹介しています



区内の地域活動を広く知ってもらい、それを行う団体や、区民、企業などが自由につながるきっかけとなるように、活動紹介動画「しながわ地域貢献活動展」・活動団体ガイドブック「しな活」、それぞれ最新版を公開・発行しました。

「しながわ地域貢献活動展」は例年2月にきゅりあんで開催する区内活動団体の見本市。今年是对面での実施が難しく、公募で集まった28団体がそれぞれ1分間で活動内容を紹介し、それらを1つにまとめた動画を作成しました。完成した動画はYouTube 品川区公式チャンネルで公開されています。



出来上がった動画の一部



YouTube 品川区公式チャンネル「しながわネット TV」
<https://youtu.be/TVkJWzfmZc>



「しな活」は区内活動団体のガイドブックです。前回の発行から2年経ち、内容を新たに第2版を作成しました。全36団体の基本情報や、団体同士の協働事例、活動を広げるための制度の紹介などが一冊に凝縮されています。品川区役所第二庁舎6階地域活動課協働推進係にて配布しているほか、区ホームページやしながわすまいるネットにてデータを公開しているため、スマートフォンなどでもご覧いただけます。

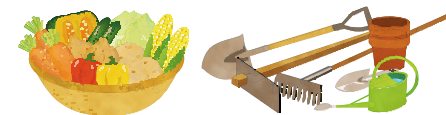


しながわすまいるネットに公開中の
データ版「しな活第2版」はこちらから





大学連携事業
NPO法人みんなの食育&立正大学研究推進・地域連携センターの協働による
「土壌リフレッシュセミナー」開催



地域団体と大学の協働が進んでいます。以前から清泉女子大学と協働で商品企画を行うなどの実績があるNPO法人みんなの食育が、新たに立正大学研究推進・地域連携センターと手を組み、令和3年10月16日、11月13日、12月4日の全3回、こみゆにていぶらぎ八潮にて品川区地域活動課協力のもと、セミナーを開催しました。

みんなの食育の活動拠点である品川区の八潮地域は、巨大な団地という地域性から、観葉植物やベランダ菜園を楽しむ方々が多くいます。その植物の栽培に使う土は定期的な入れ替えが必要であり、入れ替えた土は廃棄が困難という問題がありました。みんなの食育においても、こみゆにていぶらぎ八潮内ピオトープで野菜を育て、同施設の食堂にて提供する試みを実施していることから、土壌再生は関心の高いトピックでした。

そこで、立正大学の研究推進・地域連携センターの先生・スタッフと一緒に、八潮周辺地域の住民と立正大学の学生を対象とした「土壌リフレッシュセミナー」を計画し、開催に至りました。

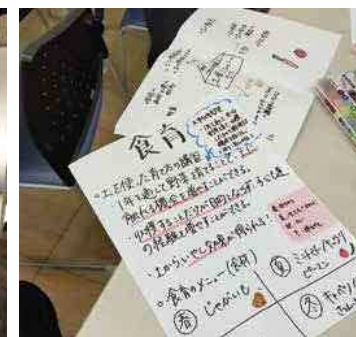
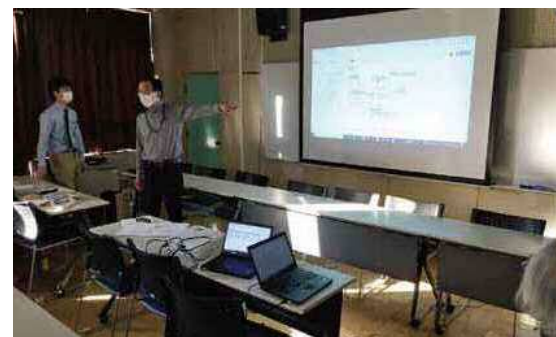


セミナーは、講義とワークショップの2部構成で行いました。

横山和成先生（立正大学地球環境科学部環境システム学科特任教授）から「微生物による土壌評価・土壌再生の取り組み」について、橋本力男先生（堆肥・育土研究所代表）には「再生培養土事業」についてご講義頂き、参加者からの様々な質疑や意見交換が活発に行われました。



ワークショップでは後藤真太郎先生（立正大学研究推進・地域連携センター長）をファシリテーターに、八潮での土壌再生拠点設置を想定した上でどのような事業が可能かグループで具体的な取り組みを議論し、発表を行いました。地域住民と大学生という異なる地域・世代の交流がある事で、活気のあるワークショップとなりました。



セミナー中には、こみゆにていぶらぎ八潮内ピオトープの菜園を見学し、実際に土壌再生を行う堆肥舎などが八潮地域に作れるかイメージを膨らませる場面もありました。

今回のセミナーを通して、参加者間の交流の楽しさを体感し、地域課題を考える機会を得ることができました。また、土壌再生を地元で行うという発想から、持続可能な消費・生産を意識したSDGsの思考を意識するセミナーとなりました。

今後も、立正大学との連携や新たな協働事業の企画を通して、地域の皆さんが参加していただける活動を行っていきます。

【記：NPO法人みんなの食育 町田崇洋氏】



立正大学事務局からのコメント

- 今回の協働事業により、様々な世代が集まり「土壌をリフレッシュするためには」という目的のために策を考えることが、地球環境をより良くする契機となったと感じています。そして、みんなの食育との協働により、コロナ禍であっても地域のコミュニティを絶やしてはいけないということを感じました。

令和3年度地域振興基金を活用した 区民活動助成採択団体による成果報告会



令和4年1月28日(金)、きゅりあん6階大会議室にて地域振興基金を活用した区民活動助成採択団体による成果報告会を実施しました。令和3年度に採択された5団体が、それぞれ対象事業の実施状況や効果、反省点などを発表し、品川区地域振興基金活用推進会議の審査員やNPO法人NPOサポートセンターからの講評を受けました。

品川区地域振興基金活用推進会議の大島英樹審査委員長からは「コロナを言い訳にせず、工夫しながら活動している団体の方々に感銘を受けました。この助成制度は資金の援助のみならず、団体同士つながるためのハブ的役割を果たすことが理想だと思います。」と全体講評がありました。

令和4年度も4月に区民活動助成制度を募集する予定です。品川区ホームページやしながわすまいるネットをご覧ください。



NPO法人NPOサポートセンターからの講評

本助成を最長の3年採択した団体が、組織と事業の基盤を作り、区内の企業や学校など連携・協働するまで、着実にステップアップされたことが伺えました。申請時の相談でお伝えしたことや各団体がやると決めたことを、コロナ禍が続く中でも試行錯誤され、着実にやり遂げたことが成果につながったと思います。

助成金を活用して公的な課題解決を担える団体が育つことで、地域の課題解決のすそ野を拡げることができます。社会情勢や課題が変化する状況下で困難なことも多いですが、中長期視点を持って組織や事業の運営を継続発展させてほしいと思います。制度を活用されたみなさんが、次の採択団体へのよきインフルエンサーになり、新たな団体が育まれたり、他の活動主体と相乗効果を発揮して課題に取り組んだりする、良い循環がうまれることを期待します。

※NPO法人NPOサポートセンターは品川区から地域活動に関する相談支援事業を受託しています。
下記連絡先にお気軽にお問い合わせください。

品川区地域活動課協働推進係 TEL:5742-6693 FAX:5742-6878 Mail:chikikat-kyodo@city.shinagawa.tokyo.jp

発行：品川区